

2024年7月21日午前10時30分  
 聖霊降臨節第10主日 主日礼拝  
 司会 伊藤普史  
 奏楽 徳江由利

讚美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平和のめき)  
 前奏  
 招きのことば ヨハネ福音書 6:27,35  
 讚美歌 14「たたえよ、王なるわれらの神を」一同  
 交読詩編 68:1-11(P.75/71)

祈り 司会者  
 ≪関東教区お祈りカレンダー≫  
 伊勢崎教会 甘楽教会 太田八幡教会  
 (主の祈り)

讚美歌 350「来たれよ、聖霊」一同

聖書 旧約 列王記上 17:8-16(P.561)  
 一新約 ヨハネ 6:22-27(P.175)

メッセージ『朽ちないパン、いのちの糧』  
 祈り 川上 盾 牧師

讚美歌 56「主よ、いのちのパンをさき」一同

献金 一同  
 (献金感謝の祈り)

信仰告白(テゼ共同体) 一同

頌栄 204(4)  
 派遣・祝祷 川上 盾 牧師  
 後奏  
 報告・紹介

＜招きのことば＞ ヨハネ福音書 6:27, 35  
 朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもなくならないで、永遠の命に至る食べ物のために働きなさい。これこそ、人の子があなたがたに与える食べ物である。……わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

＜7月礼拝当番＞ 岡安茂能 手塚福治  
 佐藤道子 川上ゆり子  
 八重樫瑛子 植松みよ

- ≪今週の集会・行事≫
- ◎ 本日 15:00 高崎教会牧師就任式
  - ◎ 23日(火) 牧師、育心こども園
  - ◎ 26日(金) 牧師、共愛学園理事會
  - ◎ 27-28日 CS夏期キャンプ
  - ◎ 27日の会堂清掃はありません

≪次週の主日≫ CS合同野外礼拝  
 於・赤城バイブルキャンプ

- ◎ 主日礼拝 10:30  
 メッセージ『イエスさまに会いにゆこう』川上牧師  
 聖書:新約 マタイ 5:1-2, 18:20(P.6, P.35)  
 讚美歌 夏はあつぞ!, こ133, こ139, こ26  
 司会:伊藤普史 奏楽:徳江由利
- ◎ キャンプ場で昼食交流会

- ≪予告≫
- ◎ 群馬地区平和集会 8/3(土)14:00  
 『イスラエル軍元兵士が語る非戦論』  
 ダニー・ネフセタイさん講演會
  - ◎ 平和主日礼拝 8/4(日)10:30 聖餐式
  - ◎ 平和映画會 8/4(日)礼拝後
  - ◎ 8月定例役員會 8/4(日)映画會終了後

≪報告≫  
 ◎ 次週主日は、CS合同野外礼拝です  
 雨天決行。ただし強力な台風の直撃等により中止する場合は、教会連絡網およびホームページでお知らせします。7月28日当日の前橋教会礼拝堂での礼拝はありません。オンライン配信もありませんので、ご了承下さい。  
 ◎ 教会報委員会からのお知らせとお詫び

本日、教会報 187号を発行しました。「教会生活はじめの一步」の特集記事となっています。楽しみにお読み下さい。なお、編集時のミスにより、前号(No.186)と同じ方の原稿を掲載してしまいました。お詫びいたします。

◎ 平和映画會のごあんない(8/4礼拝後)  
 ドキュメンタリー映画『琉球弧を戦場ににするな』(55分)を上映します。伊藤富美子さんよりDVDの提供を受けました。なお、8/4に都合が悪い方でも、希望があれば翌週の11日に上映します。掲示板の用紙にご記名下さい。

◎ 7月役員會報告(抄)  
 ①平和主日… 礼拝後、伊藤富美子さん提供のDVD上映会を行なう。②創立140周年に向けての取り組み… \*来年の創立記念日礼拝に、田中浩一郎牧師(秦野教会・当教会出身)をお招きする。\*「前橋教会の源流をたどる10分間のまなび」を連続して開催、教会の歴史・特質を共有し、140周年を迎える。③9月の教会行事(9/8地区講壇交換、9/15 恵老礼拝)・クリスマス 2つのコンサート(11/30 クリスマスのジャズソング、12/14 ヴァイオリンとピアノ)… それぞれ準備を進める。④その他… \*北海教区ワークキャンプに2名(伊藤暁啓・楠元すずね/群馬地区青年活動の一環)が参加、3万円補助を支出。

≪先週の集会≫

	ジュニア	シニア	おみ大人	計
CS朝礼拝	4	1	13	18
	礼拝堂		オンライン	献金
主日礼拝	50	25		32,650
婦人会例会	13			

《メセジ》『皆さん、元気を出しなさい』川上牧師  
 イザヤ 43:1-13, 使徒言行録 27:33-44 (7月14日)  
 ▼創立記念日の今日、改めて教会の礎が築かれてから138年間途切れることなく教会の歩みが繰り出されたことを感謝したい。戦時中は会堂の消失など大きな苦難・試練もあったが、その都度乗り越えて歩んできた。▼この数年のコロナ状況は教会にとって新たな試練となった。教勢の低下、教会活動の沈滞により、未来を明るく見通すことが難しい状況である。昨年度からようやく活動を全面再開することができた。▼昨年のイースター礼拝後、鶏めし弁当を持ってピクニックに出かけたことを印象深く憶えている。共に食事をするのが教会にとってどれほど大切な、改めて感じさせられた時間であった。イエスが大切にされた食卓の交わりを、私たちが大切に歩みたい。▼今日の新約は、パウロが裁判を受けるためにローマに移送される際の、困難な航海の様子を描いている。パウロの裁判は、ローマ帝国にとってはローカルな小さな事件であり、エルサレム周辺で決着すればよいようなことだったであろう。しかしローマの市民権を持っていたパウロがその権利を使って上訴したために、ローマに送られることになったのである。▼航海技術の発達しない古代社会での船の旅。船は暴風にあおられ遭難しそうになる。すると服役囚であり自由の身ではないはずのパウロが、同乗する人々を励ますのである。「皆さん、元気を出しなさい! 神さまは必ず守って下さる」と。▼さらに船が漂流し、浅瀬に乗り上げそうになる危機の中、船を見捨てて逃げようとする船員たちをパウロは押しとどめる。そして嵐が落ち着くと「さあ何か食べましょう。生き延びるために必要だ」と言った。▼そしてパウロはパンを取り、感謝をささげそれを割いて食べ始めた、と記される。何か思い出すことはないだろうか。イエス・キリストの食卓のあちこちで、弟子たちが何度も見た光景である。困難の中にあっても狼狽せず、心を落ち着けて神に祈り、パンを割いて分かち合う…。そんな営みのあちこちに、イエスも共におられる…。そんなことをこの箇所から示される。▼3~4年に及ぶコロナ状況は、教会から体力を奪い元気を失わせた。これから先行きのことを考えると、ため息と不安しか出てこない…。まるで嵐で遭難しそうな船の中にいるような心境である。そんな私たちにパウロは語りかける。「皆さん、元気を出しなさい! 神はきっと教会を守って下さる、必要として下さる」と。その言葉を信じて、元気を取り戻したい。▼「私の目にあなたは値高く、貴く、私はあなたを愛している」(イザヤ 43:4)、このイザヤの言葉はいつの時代の人々にも必要な言葉である。そしてその言葉をそのまま体現されたのが、イエス・キリストの生涯である。その福音に生きる喜びを知っているから、パウロは語るのだから。「皆さん、元気を出しなさい!」▼私たちもイエス・キリストの福音に生きる喜びをもう一度想い起こし、元気を出してキリストに従ってゆきたい。